



看護大FD通信

第3号

2019年

目次

巻頭言 「FD通信3号発行に寄せて」	1
「学生による授業評価アンケート」で高い授業満足度を得ている授業の分析結果報告	2
令和元年度後期科目「学生による授業評価」の実施について	3
FD研修レポート FD研修会「チームとして教育力を高める」	4



巻頭言 「FD通信3号発行に寄せて」

FD委員会 委員長 高柳 智子

新潟県立看護大学FD通信は、本学のFD活動を学生-教員双方で高めていくためのコミュニケーションツールとして、誕生しました。今回で早くも3号となります。

FDとはFaculty Developmentの略です。私たちFD委員会は、大学教育の中で魅力ある授業を構築していくための組織的な取り組みを行っています。学生の皆さんには、「学生による授業評価アンケート」を実施している委員会として御馴染みかもしれませんね。FD委員会は、授業評価アンケート以外にもFD研修会の開催など、教員の教育能力を高めるための様々な活動を行っています。FD通信では、本委員会の各種の取り組みを掲載しています。今回は過去5年間の学生による授業評価アンケート結果から、授業満足度が比較的高かった授業科目アンケートの自由記載を抽出し、学生の満足度の高い授業のエッセンスを紹介しています。学生の皆さんからの貴重な意見を共有し、検討を重ねていくことで

協同して本学のFD活動をさらに活性化できることを願っています。

今年度は、講義・演習科目用の授業評価アンケートとは別に、実習科目用の授業評価アンケートを作成し導入しました。授業評価アンケート集計結果は科目責任者をはじめとする担当教員にフィードバックするとともに、学内ネットワークに全体集計および科目群集計結果を掲載します。教員は、アンケート結果を参考に次年度の授業改善につなげていきます。学生の皆さんも、集計結果をぜひ閲覧してください。また、今年度より大学自己点検評価報告書にも上記結果を掲載し、大学としてのアカウンタビリティを果たしていく予定です。

FD委員会では、よりよい授業の構築に向けた学生の皆さんからの取り組みや教員とのコラボレーションも期待しています。アイデアをお持ちの学生さんは、気軽にFD委員にお伝えください。お待ちしております！



「学生による授業評価アンケート」で高い授業満足度を 得ている授業の分析結果報告

FD委員長 教授 高柳智子

本学では、授業最終日に学生による授業評価アンケートを実施しています。

学生による授業評価アンケートに自由記述が取り入れられた平成26年度～昨年度(平成30年度)の5年間において、授業満足度(5段階評価)は大学平均4.3～4.6と高値を維持しています。それは一部の科目により引き上げられた数値ではないことは、標準偏差や中央値から読み取ることができます。

今回の分析は、各年度の平均値+標準偏差以上の授業満足度評価を得た科目のアンケートを対象とし、自由記載を抽出・要約しました。

過去5年間の授業満足度の推移

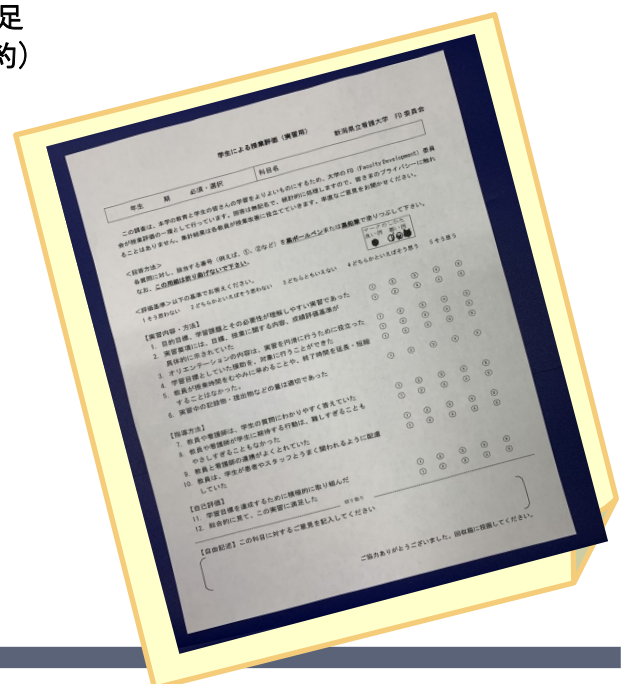
年度	授業満足度 平均値	標準 偏差	中央値	平均値+標準偏差以上の科目数(そのうち自由記述があった科目数)/授業評価アンケート実施科目数
平成26年度	4.3	0.4	4.3	11科目(8科目)/80科目
平成27年度	4.4	0.4	4.5	5科目(5科目)/75科目
平成28年度	4.5	0.4	4.6	6科目(2科目)/100科目
平成29年度	4.6	0.3	4.7	16科目(8科目)/101科目
平成30年度	4.6	0.3	4.6	11科目(6科目)/106科目

※授業満足度とは、学生による授業評価アンケート【総合評価】13.「総合的に見て、この授業に満足した」の評価を指します。「1. そう思わない」～「5. そう思う」までの5段階評価です。

※平成28年度から実習科目も学生による授業評価アンケートの対象になっています。

過去5年間の学生による授業評価アンケートにおいて授業満足度が平均値+標準偏差以上の評価を得た科目の自由記述(要約)

- 配布資料・視聴覚教材が創意工夫されていた
- 説明が分かりやすかった
- 質問への回答や、演習および実習指導が丁寧であった
- 楽しかった
- 授業構成にゆとりがあった
- 実践に即したリアリティや具体性に富んでいた
- 頑張った分、達成感や自己成長を実感できた
- 学習の要点が明確な講義資料
- 更なる興味関心を駆り立てられた
- 看護実践に活用できる知識・技術を修得できた



分析結果から～ FD委員会からのメッセージ



一つ一つの自由記述は短文でしたので、具体的な授業改善へのヒントになりえたのか自信のないところではありますが、「なるほど！」と納得のいく内容が並んでいました。

また、これらの記述は、各担当教員のたゆまぬ授業改善の賜物であることを実感しました。

FD委員会では、配布資料・視聴覚教材の創意工夫、説明に分かりやすさをはじめとした、よりよい授業方法に向けた取り組みを鋭意検討中です。1単位45時間のうち、講義や演習には授業時間だけでなく、自己学習時間もそれに含まれます。学生の皆さんには、分からないことはそのままにせず、教員に質問する、自己学習で補うといった主体的な学習姿勢もお願いしたいと思います。

また、実践に即したリアリティや具体性、達成感や自己成長、更なる興味関心など、これぞ大学生の学び！であり、看護学生ならではの内容に頼もしさを感じました。今後も学生皆さんの知的な探究心を更に刺激する「分かる」授業を目指して、FD活動を推進していきます。

学生による授業評価アンケートの自由記述は、科目責任者にフィードバックしています。ぜひ建設的な意見を寄せていただき、学生・教員が協同して、より良い授業を作り上げていきましょう。

(文責 FD委員長)

令和元年度 後期科目「学生による授業評価」の実施について

FD委員会は、授業改善ならびに教育の質の向上に資することを目的に引き続き学生による授業評価を実施いたします。ご協力の程、よろしくお願いいたします。

科目担当の先生方へ 授業最終日に授業評価アンケートの配布をお願いいたします。実施する際は、回収BOXを準備しますので、事前に事務局庶務係に連絡をお願いします。

学生の皆さんへ



授業評価アンケートの集計結果は、担当教員にフィードバックするとともに、大学ホームページ(学内専用)に過去2年分を掲載しています。尚、今年度から自己点検評価報告書にも掲載されます。

教員は学生の皆さんからの意見を参考に、授業を日々見直し、改善しています。ぜひ建設的な意見を寄せていただき、学生・教員が一丸になりよりよい授業づくりをしていきましょう。



FD研修レポート

FD研修会「チームとして教育力を高める」

FD委員会では毎年、教育活動の質的向上を目指して教員向け研修会を開催しています。本年度は9月26日（月）に新潟大学の上畠洋佑先生を講師に「チームとして教育力を高める」をテーマに開催しました。この研修会は、教員がこれまでの教育活動を振り返り、教育に関する悩みや課題を共有することを目的としました。遅い時間からのスタートでしたが32名の参加がありました。

講演は、レクチャーとワークショップ形式の2部制で行われ、レクチャーではFDの考え方や公開授業について具体的に解説いただきました。さらに、ワークショップ形式では職位別のグループに分かれ、日頃感じている悩みを出し合い、付箋と模造紙を使って構造化しました。参加者のアンケートから、日頃の教育活動を振り返る機会となった。今の問題がわかり、今後の課題が見え

た、という意見が数多く寄せられ充実した研修会となりました。

今後も皆様の意見を聞きながら実りのある研修会を企画したいと思います。



新任者の立場から～FD研修会に参加しての学び

地域看護学 助教 前川絵里子

FD委員会主催研修会に出席しました。

講義では、チームとして教育力を高める方法の一つに、公開授業（教員相互による授業参観等）の国内外の動向等が紹介されました。講義を踏まえた、職階の配慮を頂いたワークショップ（授業で抱える困難に関するグループワーク）は、学内で共通する課題、職階で異なる課題を全体共有する貴重な機会と感じました。自らの助教・助手の立場からは、領域外の授業内

容・進捗状況を理解し自らの授業に活かしたい、そのため公開授業の必要性を感じたなど発表しました。

FD委員会の先生方と講師との綿密な事前調整により限られた時間の中で、新任者である自らの授業の課題と今後を考えるとともに、FDの目的である授業改革に向けた組織的取組の必要性について、理解を深める機会となりました。

編集後記

今回でFD通信も第3号の発行となりました。第3号の特徴は「学生による授業評価アンケート」の分析です。高い授業満足度を得ている授業は、学生と教員の相互作用が働いたものであると改めて実感しました。今後も皆様のご協力のもと、より良い取り組みができるよう委員一同ワンチームとなって頑張っていきます。（FD委員会 石原）

- ◆発行日 令和元年12月3日
- ◆編集・発行 新潟県立看護大学FD委員会